

【開会挨拶】（概要）

東京都自立支援協議会 沖倉智美会長

開会に先立ち、都の協議会の活動報告と、今日の交流会の開催趣旨について案内。

第三期は、障害のある人たちのライフステージに着目、その課題と相談支援のあり方をテーマに、ワークシートを作成。ホームページからご覧いただけるので、ご一読を。

各ライフステージにおける課題とそれに対する支援、特に移行期の見直し、支援をマネジメントする相談支援専門員の役割を検討したところ、地域協議会を中心とする支援ネットワークの充実に向けた課題が明らかとなった。第四期のテーマを「相談支援専門員を中心とした地域の相談体制を考える」とし、第四期一年目の昨年のテーマとして、

- ・どのような人材を育てていくのか。
- ・相談支援専門員がどのような力量を持つべきか。

を本会議を中心に討議し、その結果をケアマネジメントのプロセスにおける、相談員の基本姿勢とそれを実現するための具体的な行動としてシートを作成。昨年の交流会やセミナー等でも報告し、皆様に意見を頂いた。

今期は第四期の2年目になり、このシートを念頭に5月の第一回本会議を開催し、

- ・どのように人材を育てていくのか。
- ・育成方法やスーパービジョン体制。
- ・どのように地域で相談支援の関係者同士が支えあっていくのか。
- ・相談支援体制をどう地域の中で作るのか。

について検討した。その結果、地域課題が見え、本日討議していただく五つのテーマを設定した。

本日は「考えよう！相談支援を地域で育て、支える仕組み」をテーマに

前半は話題提供として、

- ・特定非営利活動法人若駒ライフサポート 大須賀氏
- ・文京区障害者基幹相談支援センター 鈴木氏

から、人材育成に関する取組についてお話を頂く。

後半はグループ討議として、

- ・少数職場におけるOJT
- ・参加しやすく効果的なOFF-JT
- ・相談支援専門員同士のネットワーク
- ・他職種連携
- ・他分野との連携

の五つテーマに分かれ、現状、課題、対応策を討議いただく。

討議いただいた実践上の工夫や対応を相談支援に活かし、また、参加者の方同士の今後の継続的な情報交換や連携の始まりのきっかけになればと思う。

なお、本交流会は、都自立支援協議会の情報収集活動の一環とし、個々で出された意見は来年2月に予定の第二回本会議の議論に反映させていく。

最後に、今年度も自立支援協議会の動向集を発行することができ、皆様のご協力に感謝し、今後も、地域協議会と都協議会、双方向性を高める取り組みを継続したいと思っている。